

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用）教科

国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：柳澤・武川）（2組：柳澤・武川）（3組：柳澤・武川）（4組：柳澤・武川）（5組：柳澤・武川）（6組：柳澤・武川）

使用教科書：（東京書籍『新編論理国語』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学 期	A 単元【広がる風景】 「世界をつくり替えるために」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、ウ	・「世界をつくり替えるために」 小林康夫				【知技】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 ・文や文章の効果的な組み立て方や、接続の仕方について理解を深めている。	○	○	○	12
	B 単元 学び直し 【知識及び技能】 (1)ア	『国語必携ライトパーフェクト演習』 「第1編・基礎編①」 ・慣用表現/表現/語彙/文学史 『漢字ボックス』反復ノート 「4級第3回～第6回」 ・書き/読み/類義語/対義語など				【知技】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○		○	12
	定期考査						○	○		
	C 単元【現実の中で】 「安心について」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、エ	・「安心について」 廣瀬升彦				【知技】 ・文や文章の効果的な組み立て方や、接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 ・読むことにおいて、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。	○	○	○	12
	D 単元【時代をひらく】 「最初のペンギン」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、エ、カ	・「最初のペンギン」 茂木健一郎				【知技】 ・言葉には言葉そのものを認識したり、説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 ・タイトルに象徴される筆者の考えを手掛かりにして、自分の生き方について考えることができる。 【主】 ・積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、今までの学習を生かして自分の経験を振り返り、これらの生き方について考えようとしている。	○	○	○	12
	E 単元 学び直し 【知識及び技能】 (1)ア	『国語必携ライトパーフェクト演習』 「第1編・基礎編①」 ・慣用表現/表現/語彙/文学史 『漢字ボックス』反復ノート 「4級第7回～第10回」 ・書き/読み/類義語/対義語など				【知技】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○		○	12
定期考査						○	○			
2 学 期	F 単元【新しい視点から】 「物語の外から」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、カ 【作文】 修学旅行調べ学習	・「物語の外から」 岸政彦 ・修学旅行調べ学習（一台端末）				【知技】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成・論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【主】 他者と協力をしながら、一台端末を使用し、発表の準備をすることができる。	○	○	○	12
	G 単元 学び直し 【知識及び技能】 (1)ア	『国語必携ライトパーフェクト演習』 「第2編・基礎編②」 ・身につけたい漢字/慣用表現 表現/語彙/文章題 『漢字ボックス』反復ノート 「4級第11回～3級第3回」 ・書き/読み/類義語/対義語など				【知技】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○		○	12
	定期考査						○	○		
	H 単元【科学と人間】 「ロボットが隣人になるとき」 【知識及び技能】 (1)ア、イ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア 【作文】 自分をアピールする	・「ロボットが隣人になるとき」 野矢茂樹				【知技】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、内容を解釈している。	○	○	○	12
I 単元 学び直し 【知識及び技能】 (1)ア	『国語必携ライトパーフェクト演習』 「第2編・基礎編②」 ・身につけたい漢字/慣用表現 表現/語彙/文章題 『漢字ボックス』反復ノート 「3級第4回～第7回」 ・書き/読み/類義語/対義語など				【知技】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○		○	12	
定期考査						○	○			
3 学 期	J 単元【知のゆくえ】 【広がる風景】 「もう一つの知性」「対話とは何か」 【知識及び技能】 (1)ア、イ、ウ 【思考力、判断力、表現力等】 読むこと(1)ア、カ 【作文】 志望動機	・「もう一つの知性」 委向中 ・「対話とは何か」 細川英雄				【知技】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思判表】 文章の種類を踏まえて、内容や構成・論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。	○	○	○	16
	K 単元 学び直し 【知識及び技能】 (1)ア	『国語必携ライトパーフェクト演習』 「第2編・基礎編②」 ・身につけたい漢字/慣用表現 表現/語彙/文章題 『漢字ボックス』反復ノート 「3級第8回～第11回」 ・書き/読み/類義語/対義語など				【知技】 ・実社会に必要な国語の知識を身に付けている。	○		○	16
定期考査						○	○		合計	
									140	

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典講読

教科：国語 科目：古典講読 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：柳澤） （2 組：武川） （3 組：小松） （4 組：柳澤） （5 組：武川） （6 組：小松）

使用教科書：東京書籍 『新編古典探究』

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典講読 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	古典に親しむことで言葉のもつ価値を認識し、自己の考えを深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	A単元【漢文】 【知識及び技能】 漢文の訓詁の基礎を理解し、書き下し文にすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 故事の内容について、古語の意味を手掛かりに、内容や展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみをもち、主体的に自らの言語感覚や考え方を深めようとしている。	・指導事項 訓点 訓読文 書き下し文 古語の意味 現代語訳 ・教材 教科書・図説		○		【知識・技能】 ・訓読文を書き下し文にすることができる。 ・文中の語句の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味を理解し、「蛇足」の内容や展開を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		
	B単元【『土佐日記』冒頭】 【『十訓抄』「大江山の歌」】 【知識及び技能】 古語や古文を読解する上で基礎的な文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の内容について、古語の意味を手掛かりに、内容や展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文や説話に親しみをもち、主体的に自らの言語感覚や考え方を深めようとしている。	・指導事項 暗唱 古語の意味 現代語訳 ・教材 教科書・図説	○	○		【知識・技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・文中の語句の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味を理解し、「大江山の歌」の内容や展開を理解している。 ・短文を暗唱し、歴史的仮名遣いに気を付けながら、音読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	15
定期考査							○	○		
2 学期	A単元【『更級日記』「門出」】 【知識及び技能】 古語や古文を読解する上で基礎的な文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古文の内容について、古語の意味を手掛かりに、内容や展開を捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文に親しみをもち、主体的に自らの言語感覚や考え方を深めようとしている。	・指導事項 暗唱 古語の意味 現代語訳 ・教材 教科書・図説	○	○		【知識・技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・文中の古語の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味や時代背景を理解し、「門出」の内容や展開を理解している。 ・短文を暗唱し、歴史的仮名遣いに気を付けながら、音読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査							○	○	
	B『伊勢物語』「初冠」	・指導事項 暗唱 古語の意味 現代語訳 ・教材 教科書・図説	○	○		【知識・技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・文中の語句の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味を理解し、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・二首の和歌の関係とその意図について理解している。 ・短文を暗唱し、歴史的仮名遣いに気を付けながら、音読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	15
定期考査								○	○	
3 学期	A単元【『源氏物語』「光源氏の誕生」】	・指導事項 古語の意味 現代語訳 ・教材 教科書・図説		○		【知識・技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・古語の意味を理解し、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・短文を暗唱し、歴史的仮名遣いに気を付けながら、音読している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物が丁寧に取られ、期限を守って提出されている。 ・授業に必要な教材を準備し、集中して取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査							○	○	
								○	○	6
	定期考査							○	○	
合計										70

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：青柳） （2組：青柳） （3組：青柳） （4組：青柳） （5組：青柳） （6組：青柳）

使用教科書： （ 高等学校 新歴史総合 第一学習社 ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、様々な情報から調べまとめる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想し、考察・構想したことを説明したり議論する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に解決しようとし、日本国民としての自覚と愛情をもち、他国の文化を尊重する。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する。	課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を考察する。	歴史の大きな変化に着目し、問いを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>・歴史の扉 【知識及び技能】 歴史を構成する種々の資料の特性とその取り扱いの留意点についてアウトラインを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 種々の資料にもとづいて歴史的な見方および考え方ができるようにし、またそこから現在とのつながりについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に目を向けてその変化を調べ、歴史を実感できるように主体的に追究しようとする態度を養う。</p> <p>・近代化と私たち 【知識及び技能】 「近代化」とそれともなう時代と社会・文化の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化による生活の変化にまで踏み込んで資料を基にして考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 権利・政治参加などについて現代の問題と関連させつつ主体的に追究しようとする態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 ①歴史と私たち ②清が東アジアに君臨した。 ③工業化の進展と国民国家の建設。 ④砂糖・紅茶・キャラコ。 ⑤国産化が世界を変容させる。 ⑥人々の政府を自らつくる。 ⑦権利意識の高揚、自由主義とナショナリズムの拡大。 ⑧英国の影響力の世界化。 ⑨ヨーロッパの衝撃。 ⑩日本の開国。 ⑪立憲国家日本の成立。 ⑫日本の帝国主義化～日清戦争。 ⑬日本の帝国主義化～日露戦争、韓国の植民地化。 ⑭日本の産業革命。</p> <p>・教材 教科書、準拠ノート、授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。</p> <p>【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物の期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。</p>	○	○	○	12
	○	○	○	12			
	○	○	○	24			
2 学 期	<p>・国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 第一次世界大戦・第二次世界体制がおこった理由と、戦争が社会や生活に与えた影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文字の資料以外に絵画・写真・映像などの資料を基にして、戦争や戦間期の人びとの生活のありようについて考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 「国際関係」や「大衆」というキーワードについてさまざまな視点から現代の問題と関連させつつ主体的に追究しようとする態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 ①第一次大戦。 ②ロシア革命と大戦後の国際協調の模索。 ③大戦とアジアおよび朝鮮・中国での民衆運動の高揚。 ④1920年代米国の繁栄。 ⑤大衆の政治参加。 ⑥世界恐慌と全体主義の台頭。 ⑦日本の中国侵略と第二次世界大戦。 ⑧大戦後の新しい国際秩序。</p> <p>・教材 教科書、準拠ノート、授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。</p> <p>【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。</p>	○	○	○	27
	○	○	○	27			
3 学 期	<p>・グローバル化と私たち 【知識及び技能】 人・商品・情報の世界規模での急速な移動のありようについて、その原因とともに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「グローバル化」が今日の社会や人びとの生活・文化に与えた影響について、積極的・消極的側面をそれぞれ資料を基にして考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在進行形の「グローバル化」の中での自らのありようについて、自分の生活に立ち返りつつ考察し生き方を考えようとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 ①アジア・アフリカの国々の独立。 ②核戦争の危機。 ③高度経済成長。 ④ベトナム戦争と文化大革命。 ⑤ドルショックと石油危機、西アジアの変容。 ⑦冷戦の終了とソ連邦解体。 ⑧「超大国」米国の動揺とグローバル化。</p> <p>・教材 教科書、準拠ノート、授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 授業プリントにおいて、知識問題等が正確にかけられている。</p> <p>【思考・判断・表現】 授業プリントにおいて、指示された通りの表現が描かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業に集中している。 授業に積極的に参加している。</p>	○	○	○	19
	○	○	○	合計 70			

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用）教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組 ～ 6 組

教科担当者： （1組：常澤） （2組：常澤） （3組：常澤） （4組：常澤） （5組：常澤） （6組：常澤）

使用教科書： （高等学校公民科用 公共（実教出版））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】倫理・政治・経済などに関わる現代社会の諸課題について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】現代社会における諸課題について、資料をもとに考え、自分の考えを発言する。
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のため、現代社会における諸課題を主体的に解決する態度を身に付ける。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れたら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 公共の扉 【知識及び技能】 ・青年期の発達課題を理解する。 ・古代ギリシアから西洋近代の法について理解する。 ・民主政治の基本原則を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、日本人の伝統的な考え方や文化への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	・指導事項 青年期とは 自己形成の課題 古代ギリシアの人間観 西洋近代思想 民主政治の成立 世界の主な政治制度 ・教材 教科書、資料集、授業プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 小テスト、定期考査等において、知識問題等が正確に書けている。 【思考・判断・表現】 予習プリントにおいて、指示された通りの表現が書かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業時間中に集中して取り組んでいる。 授業を欠席せず、積極的に参加している。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		
2 学 期	単元 現代の民主政治と日本国憲法 【知識及び技能】 ・自由権・平等権・社会権など、憲法で定められている規定を理解する。 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事例や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事例や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 日本国憲法の基本的性格 自由権・平等権 社会権・参政権 新しい人権 政治機構と国会 公正な裁判の保障 政党政治 選挙制度 ・教材 教科書、資料集、授業プリント 予習プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 小テスト、定期考査等において、知識問題等が正確に書けている。 【思考・判断・表現】 予習プリントにおいて、指示された通りの表現が書かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業時間中に集中して取り組んでいる。 授業を欠席せず、積極的に参加している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
3 学 期	単元 現代の経済社会と国民生活 【知識及び技能】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事例や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について地域の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。	・指導事項 経済主体と経済活動の意義 市場のしくみ 市場の失敗 現代の企業 国民所得 日本銀行の役割 日本の財政の課題 ・教材 教科書、資料集、授業プリント 予習プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 小テスト、定期考査等において、知識問題等が正確に書けている。 【思考・判断・表現】 予習プリントにおいて、指示された通りの表現が書かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業時間中に集中して取り組んでいる。 授業を欠席せず、積極的に参加している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
3 学 期	単元 国際社会と人権の課題 【知識及び技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事例や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・指導事項 国際社会と国際法 国際連合と国際協力 人種・民族問題 国際平和と日本の役割 貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 第二次世界大戦後の国際経済 国際経済の課題 ・教材 教科書、資料集、授業プリント 予習プリント ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 小テスト、定期考査等において、知識問題等が正確に書けている。 【思考・判断・表現】 予習プリントにおいて、指示された通りの表現が書かれている。 資料を読み取り、自らの考えが書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物が期日を守り、完全な状態で出されている。 授業時間中に集中して取り組んでいる。 授業を欠席せず、積極的に参加している。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		計70

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱα

教科： 数学 科目： 数学Ⅱα 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：加藤・井上）（2組：加藤）（3組：加藤）（4組：加藤）（5・6組：加藤・井上）

使用教科書： 数研出版 最新数学Ⅱ

教科 数学 の目標：

【知識・技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【主体的に取り組む態度】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱα の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 式と計算 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。 多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 粘り強く「柔軟に」考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。	・式と計算 多項式の乗法と因数分解 二項定理 多項式の割り算 分数式の乗法・除法 分数式の加法・減法 恒等式	【知識・技能】 ・3次の乗法公式及び因数分解の公式を用いて計算することができる。 ・二項定理を活用して、整式の一般項を求めることができる。 ・多項式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算することができる。 ・等式について理解を深め、恒等式となるような値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式を既に学習した数と式の計算と関連付けて多面的に考察することができる。 ・パスカルの三角形や組合せの考えを用いて二項定理について考察することができる。 ・分母が異なる分数式の計算を、数の計算と関連付けて多面的に考察することができる。 ・等式が恒等式であるための条件を考察することができる。 ・等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式を既に学習した数と式の計算と関連付けて多面的に考えようとしている。 ・パスカルの三角形や二項定理に関心をもち、学習に取り組もうとしている。 ・分母が異なる分数式の計算を、数の計算と関連付けて多面的に考えようとしている。 ・具体的な方程式と対比させて、等式が恒等式であるための条件を考えようとしている。				14
	B 等式・不等式の証明 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。	・等式・不等式の証明 等式の証明 不等式の証明 相加平均と相乗平均	【知識・技能】 ・不等式の性質を用いた不等式の証明の仕方について理解している。 ・相加平均と相乗平均の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・実数や不等式の性質を利用して不等式が成り立つことを証明することができる。 ・相加平均と相乗平均の関係をを利用して、不等式が成り立つことを証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実数や不等式の性質を利用して、不等式が成り立つことを証明しようとしている。				8
	C 複素数と2次方程式の解 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 2次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解すること。	・複素数と2次方程式の解 複素数	【知識・技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算について計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・複素数の四則計算について考察することができる。 ・複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数の四則計算について複素数の性質を活用して、考えようとしている。 ・複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考えようとしている。				4
2 学期	2次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解すること。	2次方程式の解と判別式 解と係数の関係	【知識・技能】 ・2次方程式の解の公式や判別式の意味を理解し、2次方程式の解を求めたり、解を判別したりすることができる。 ・解と係数の関係を用いて、2次方程式の解の和や積などを求めることができる。 ・解と係数の関係を用いて、2次式を因数分解したり、2数を解とする2次方程式を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次方程式の解の公式が係数によって書き換えられることを説明することができる。 ・2次方程式の判別式を用いて2次方程式の解の個数を考察することができる。 ・2次方程式の解と係数にはどのような関係があるのかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次方程式の判別式を活用して、2次方程式の解の個数を考えようとしている。 ・2次方程式の解と係数にはどのような関係があるのかを考えようとしている。				8
	D 高次方程式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。	・高次方程式 剰余の定理と因数分解 高次方程式の解	【知識・技能】 ・剰余の定理や因数定理を理解し、多項式の因数分解や除法における余りを求めることができる。 ・因数定理や因数分解を利用して、高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・因数定理を多項式の除法と関連付けて考察することができる。 ・高次方程式を利用して具体的な問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・因数定理を多項式の除法と関連付けて考えようとしている。				8
3 学期	E 図形と方程式 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。 簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	・点と直線 直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の平行と垂直 ・円 円の方程式 円と直線 ・軌跡と領域 不等式の表す領域 連立不等式と領域	【知識・技能】 ・座標平面上の点について理解し、2点間の距離を求めることができる。 ・数直線上で線分を内分・外分する点及び座標平面上の線分を内分・外分する点の座標を求めることができる。 ・与えられた条件を用いて、平面上の直線の方程式を求めることができる。10 ・2直線の図形的な関係について理解し、平行・垂直な直線や直線に関して対称な点を求めることができる。 ・点と直線の距離について理解し、その長さを求めることができる。 ・与えられた条件を用いて、円の方程式を求めることができる。 ・円と直線の共有点の座標を、連立方程式を活用して求めることができる。 ・円の接線の方程式を求めることができる。 ・円と円の位置関係や共有点の座標を求めることができる。 ・軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡の方程式を求めることができる。 ・与えられた不等式や連立不等式を座標平面上の領域として図示することができる。 【思考・判断・表現】 ・数直線上で線分を内分・外分する点及び座標平面上の線分を内分・外分する点の座標について考察することができる。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を利用して、図形の性質について証明することができる。 ・与えられた方程式がどのような図形を表すか、判断することができる。 ・円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して説明することができる。 ・不等式の表す図形を考察したり、説明したりすることができる。 ・与えられた連立不等式を座標平面上の領域として図示し、それらを活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数直線上で線分を内分・外分する点及び座標平面上の線分を内分・外分する点の座標について考察しようとしている。 ・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を活用して、図形の性質について証明しようとしている。 ・円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して考えようとしている。 ・不等式の表す図形を考えた、説明したりしようとしている。				10
							18
							70

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発見的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明確・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素の個数に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発見的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、拡張したときの指数法則について考察したり、数式の計算をしたりすることができる。</p> <p>指数関数の値の変化やグラフの特徴について、多面的に考察することができる。また、指数関数の性質を用いて2つの数の大小を判断したり、指数関数を含む方程式や不等式を解いたりすることができる。</p> <p>指数と対数を相互に関連付けて対数の意味や、その基本的な性質について考察することができる。また、簡単な対数の値を計算することができる。</p> <p>対数関数の値の変化やグラフの特徴について、多面的に考察することができる。また、対数関数の性質を用いて数の大小を判断したり、指数関数を含む方程式や不等式を解いたりすることができる。</p> <p>常用対数の意義を理解し、常用対数の値を用いて整数の桁数や小数の位について求めることができる。</p>	<p>・指数関数と対数関数 指数法則 指数関数とそのグラフ 対数 対数の性質 対数関数とそのグラフ 常用対数</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数式の計算をすることができる。 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、指数関数のグラフをかくことができる。 指数関数の性質に着目し、方程式や不等式を解くことができる。 指数と対数の形を表すことができる。 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の値を計算することができる。 対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、対数関数のグラフをかくことができる。 対数関数の性質を理解し、対数関数を含む方程式や不等式を解くことができる。 常用対数の意義を理解し、常用対数を用いて、値を求めることができる。 常用対数の値を用いて、整数の桁数や小数の位について求めることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数を整数へ拡張したときの指数法則について考察することができる。 指数を整数へ拡張したときの指数法則が成り立つことを、具体的な数値を用いて説明することができる。 累乗根の定義から、累乗根の基本的な性質について証明することができる。 指数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 指数関数の性質を用いて、2つの数の大小を判断することができる。 指数と対数を相互に関連付けて、対数の性質について証明することができる。 対数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 対数関数の性質を用いて、数の大小について判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数を整数に拡張したときの指数法則について考えようとしている。 指数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考えようとしている。 指数と対数を相互に関連付けて考えようとしている。 対数関数の値の変化やグラフの特徴について、表や式、グラフを相互に関連付けて多面的に考えようとしている。 	○	○	○	26
<p>具体的な事象から、一般の関数についての平均変化率や微分係数を求め、その図形的な意味を考察することができる。さらに、導関数の定義を理解し、関数の導関数を求めることができる。</p> <p>導関数の性質を基に、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。また、導関数を利用して、微分係数や接線の方程式を求めることができる。</p> <p>関数とその導関数の関係を理解し、関数の増加、減少及び極値を調べ、グラフの概形をかくことができる。また、それらを方程式の実数解の個数や関数の最大・最小、不等式の証明に活用できる。</p>	<p>・微分法 平均変化率と微分係数 導関数 いろいろな関数の微分 接線 関数の増減 関数の極大・極小 関数の最大・最小 方程式・不等式への応用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数の平均変化率や微分係数を求めることができる。 微分係数の図形的な意味を理解し、接線の傾きを求めることができる。 導関数の定義にしたがって、関数の導関数を求めることができる。 関数の導関数について計算することができる。 導関数を利用して、微分係数や接線の方程式を求めることができる。 関数とその導関数の関係を理解し、関数の増加、減少及び極値を調べ、グラフの概形をかくことができる。 関数が極値をもつかどうか調べたり、極値の条件から関数を求めたりすることができる。 関数の増減やグラフを調べることで、方程式の実数解の個数や関数の最大・最小を求めることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象から平均の速さや瞬間の速さを考察することができる。 具体的な事象から導関数を考察することができる。 グラフを利用して、関数が導関数とどのような関係にあるかを説明することができる。 導関数の定義を利用して、関数の定数倍、和及び差の導関数について簡単に求める方法を考察することができる。 導関数のグラフから、もとのグラフがどのような形状になるかを考察することができる。 関数が極値をもつ条件について説明することができる。 関数の増減やグラフを活用して、具体的な事象に関する問題を解決することができる。 関数の増減を考察し、与えられた不等式が成り立つことを証明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象から平均の速さや瞬間の速さについて考えようとしている。 具体的な事象から導関数について考えようとしている。 グラフを利用して、関数が導関数とどのような関係にあるかを説明しようとしている。 導関数の定義を利用して、関数の定数倍、和及び差の導関数について簡単に求める方法を考えようとしている。 導関数のグラフから、もとのグラフがどのような形状になるかを考えようとしている。 	○	○	○	14
<p>原始関数について理解し、関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>不定積分を用いて、定積分の値を求めたり、定積分の性質について考察したりすることができる。また、定積分を含む微分や、上端が変数の定積分について考察することができる。</p> <p>積分の考えを利用して、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。</p>	<p>・積分法 不定積分 不定積分の計算 定積分 定積分の性質 面積</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原始関数について理解し、関数の不定積分を求めることができる。 不定積分を用いて、定積分の値を計算することができる。 定積分の性質を用いて、定積分の値を計算することができる。 定積分を含む関数を求めることができる。 上端が変数の定積分と関数の関係を理解し、関数を求めることができる。 積分の考えを利用して、囲まれた図形の面積を求めることができる。 絶対値のついた関数の定積分について計算することができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定積分の性質を用いて、定積分を計算する方法について考察することができる。 上端が変数の定積分について考察し、その定積分と微分したものの関係について説明することができる。 積分の考えを利用して、面積を求める方法を考察することができる。 積分の考えを利用して、2つの曲線の間の面積を求める方法について考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定積分の性質を用いて、定積分を計算する方法について考えようとしている。 上端が変数の定積分とそれを微分したものの関係について考えようとしている。 積分の考えを利用して、面積を求める方法を考えようとしている。 積分の考えを利用して、2つの曲線の間の面積を求める方法について考えようとしている。 	○	○	○	12
<p>角の概念を一般角まで拡張することや弧度法を用いる必要性、弧度法の基本的な考え方について理解することができる。</p> <p>一般角に対する三角関数の定義や、三角関数の相互関係などの基本的な性質について理解し、三角関数の値を求めることができる。</p> <p>座標を入れかえたり、符号を変えたりしたときの動径が表す角と三角関数の値との関係を考察し、いろいろな角の三角関数の値を求めることができる。</p> <p>三角関数のグラフの特徴について理解し、与えられた三角関数のグラフをかくことができる。また、三角関数の式と三角関数の関係について多面的に考察することができる。</p> <p>三角関数の性質や単位円、グラフなどを用いて、三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。</p> <p>三角関数の加法定理について理解し、与えられた三角関数の値を求めることができる。また、2倍角の公式を活用して与えられた三角関数の値を求めたり、三角関数を含む方程式を解いたりすることができる。</p> <p>三角関数の合成を理解し、与えられた三角関数を合成したり、三角関数の合成を利用して最大値・最小値を求めたりすることができる。</p>	<p>・三角関数 一般角 弧度法 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式 加法定理 加法定理の応用 三角関数の合成</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 角の概念を一般角まで拡張する意義を理解し、弧度法により角を表したり、扇形の弧の長さや面積を求めたりすることができる。 一般角に対する三角関数の定義を理解し、三角関数の値を求めることができる。 三角関数の相互関係などの基本的な性質について理解し、三角関数の値を求めることができる。 三角関数の性質を理解し、いろいろな角の三角関数の値を求めることができる。 三角関数のグラフの特徴について理解し、与えられた三角関数のグラフをかくことができる。 三角関数の性質や単位円、グラフなどを用いて、三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角関数の加法定理について理解し、与えられた三角関数の値を求めることができる。 2倍角の公式を活用して、与えられた三角関数の値を求めたり、三角関数を含む方程式を解いたりすることができる。 与えられた三角関数を合成することができる。 三角関数の合成を利用して最大値・最小値を求めることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 座標を入れかえたり、符号を変えたりしたときの動径が表す角と三角関数の値との関係を考察したり、説明したりすることができる。 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 2つの三角関数のグラフの関係について考察したり、説明したりすることができる。 単位円を利用して三角関数の加法定理について考察することができる。 三角関数の合成を、グラフや加法定理と関連付けて考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 座標を入れかえたり、符号を変えたりしたときの動径が表す角と三角関数の値との関係を考えたが、説明したりしようとしている。 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考えようとしている。 単位円を利用して三角関数の加法定理について考えようとしている。 三角関数の合成を、グラフや加法定理と関連付けて考えようとしている。 	○	○	○	18
合計						70

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1組、5組、6組

教科担当者： (1・5・6組：加藤)

使用教科書： 数研出版 最新数学B

教科 数学

の目標：

【知識・技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【主体的に取り組む態度】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、母集団の傾向や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 数列とその和 【知識・技能】 ・等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。 ・いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。 【思考・判断・表現】 ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 ・事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く「柔軟に」考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	・数列とその和 等差数列 等差数列の和 等比数列 等比数列の和、研究 複利計算 和の記号Σ 自然数の2乗の和 いろいろな数列の和 階差数列	【知識・技能】 ・数列の定義、表記について理解している。 ・数列の一般項から、各項を求めることができる。 ・数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。 ・等差数列の公差、一般項などを理解している。 ・初項と公差を文字で表して、数列から数列の一般項を決定できる。 ・等差数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。 ・自然数の和、奇数の和、偶数の和が求められる。 ・等比数列の公比、一般項などを理解している。 ・初項と公比を文字で表して、数列から数列の一般項を決定できる。 ・等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。 ・記号Σの意味を理解し、Σの式を和の形で表したり、数列の和をΣの式で表したりすることができる。 ・Σの性質や、Σk、Σk ² などの公式を適切に用いて、Σで表された和を計算することができる。 ・第n項の公式を式で表して、初項から第n項までの和が求められる。 ・和の求め方を工夫して、数列の和が求められる。 ・数列の和S _n と第n項a _n の関係を理解し、数列の一般項が求められる。 ・和S _n の利用では、初項の扱いに注意して一般項が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 ・階差数列の利用では、初項の扱いに注意して一般項が求められる。 【思考・判断・表現】 ・等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係を考察できる。 ・等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係を考察できる。 ・初項から第n項までの和を計算して、一般項を考察できる。 ・数列の規則性の見直し階差数列が利用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数列の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。 ・等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係を考察しようとする意欲がある。 ・等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係を考察しようとする意欲がある。 ・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 ・自然数の2乗の和を工夫して求める方法に興味をもち、自然数の2乗の和の公式を導こうとする意欲がある。 ・f(k+1)-f(k)を用いた和の求め方に興味をもち、具体的な問題に活用しようとする。	○	○	○	20
2 学期	B 漸化式と数学的帰納法 【知識・技能】 ・漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めること。 ・数学的帰納法について理解すること。 ・漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 【思考・判断・表現】 自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	・漸化式と数学的帰納法 漸化式と一般項 数学的帰納法	【知識・技能】 ・漸化式の意味を理解し、具体的に求められる。 ・漸化式を適切に変形して、その数列の一般項を考察することができる。 ・おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 ・二項と漸化式から一般項が求められる。 ・数学的帰納法を用いて、等式、不等式を証明できる。 ・ある数の整数であること、文字を用いて表現できる。 ・数学的帰納法を用いて、整数の性質を証明できる。 【思考・判断・表現】 ・漸化式と数学的帰納法を用いて数列を定義できることを理解している。 ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 ・自然数に関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事象を帰納的に証明しようとする。	○	○	○	8
	C 確率分布 【知識・技能】 ・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 【思考・判断・表現】 確率変数とその分布について理解し、それらを不確定な事象の考察に活用できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し進んで数学を活用する態度を育成する。	・確率分布 確率変数と確率分布 確率変数の期待値 分散と標準偏差 二項分布 二項分布と期待値、分散、標準偏差 連続型確率変数 正規分布、研究確率 二項分布の正規分布による近似	【知識・技能】 ・確率分布を計算式や分布表を用いて表すことができる。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・連続的な確率変数について理解し、標準正規分布から標準値を求めることができる。 ・標準正規分布を用いて、標準正規分布に似ている確率変数を考察できる。 ・正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換できる。 ・標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。 ・日常の身近な問題を統計的に処理するに正規分布を利用できる。 ・二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率分布で近似して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を用いて確率分布の特徴を考察することができる。 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義から導出することができる。 ・面積を利用して確率分布の表し方を理解している。 ・正規分布の特徴を理解し、さまざまな観点からとらえられる。 ・二項分布のグラフと正規分布曲線の関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・確率分布のグラフを用いて確率分布を用いることにより気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。 ・確率変数a+Xと確率変数Xのそれぞれの期待値、分散と標準偏差の関係について積極的に考察しようとする。 ・二項分布に興味・関心をもち、さいころを投げるなどの具体的な事象について考察しようとする。 ・二項分布のグラフに正規分布をもち、調べてみようとする。 ・連続的な確率変数である正規分布に興味をもち、正規分布について積極的に考察しようとする。 ・確率P(a ≤ X ≤ a')を求めることができ、その結果を考察しようとする。	○	○	○	20
	D 統計的な推測 統計的な推測について理解し、それを不確定な事象の考察に活用できるようにする。 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察すること。 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。	・統計的な推測 母集団と標本 標本平均の分布 標本平均の推定 母比率の推定 仮説検定	【知識・技能】 ・全調査と標本調査の特徴を理解し、適する調査方法を導くことができる。 ・母平均と母標準偏差がわかれば、標本平均の値がどのくらいの確率で現れるかを推測できることを理解している。 ・推定にかかわる用語・記号を適切に活用することができる。 ・信頼区間の考え方を理解し、母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定にかかわる用語を適切に活用することができる。 ・仮説検定の考え方を理解し、母平均や母比率の推定を決定することができる。 【思考・判断・表現】 ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ・仮説検定の考え方がわかる。 ・仮説検定の考え方がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・母集団や標本の特徴を理解しようとする。 ・標本抽出の方法について関心をもち、調べてみようとする。 ・母平均や母比率の推定に関心をもち、調べてみようとする。 ・仮説検定に関心をもち、調べてみようとする。	○	○	○	12
3 学期	E 数学と社会生活 【知識・技能】 ・社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解するとともに、日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知る。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し進んで数学を活用する態度を育成する。	・数学を用いた考察 ごみの量の推定 シェアサイクル（自転車シェアリング） 社会で用いられる数値や指標 偏差値 選挙における議席配分	【知識・技能】 ・日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するときの手順を理解している。 ・変数xと変数y=mx+bの平均値、分散、標準偏差の関係を理解している。 ・偏差値の定義から偏差値を求めることができる。 ・最大剰余方式、アダムズ方式を理解し、これらを用いて選挙区議席数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し、別の仮定を立てて考察することができる。 ・解決過程を振り返り、そこで用いた方法を一般化して、別の仮定に活用することができる。 ・偏差値が「偏差値」全体における相対的な位置を評価できることを理解している。 ・最大剰余方式、アダムズ方式の特徴について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察したり、そこで用いた方法を一般化したりして、別の仮定について積極的に考察する。 ・社会で用いられる数値や指標について興味・関心をもち、調べてみようとする。 ・議席配分の割り振り方について、他の方法がないか調べようとする。	○	○	○	10
							合計 70

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科：理科 科目：地学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1 組：小糸） （2 組：小糸） （3 組：橋本） （4 組：橋本） （5 組：秋本） （6 組：秋本）

使用教科書：（第一学習社 改訂地学基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象について、特徴を見出して表現している。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察、実験などを通して地学的な事象・現象に関する基本的な概念や原理、法則を理解し、知識を身に付けている。 地学的な事象・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事象・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして、問題を解決し、事実をもとめて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。	地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 単元 地球の自転 【知識及び技能】 地球の形や大きさについて、測定の歴史を学び、その求め方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球の形や大きさ、地球の内部構造 地球の内部に層構造がみられることや、各層の構成物質の種類や性質、状態について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 地球の形と大きさ 地球の形の特徴と大きさ 地球の内部構造 地球内部の動き ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 ニュートンやケプラーによる測定をもとに、計算によって地球の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 地球内部を構成する元素を示すグラフを読み取り、地球内部の構成物質の違いについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球の形と大きさの測定の方法について意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7
	2 単元 プレーートの運動 【知識及び技能】 プレートの分布とその境界にみられる地球表面の特徴を学び、プレートの運動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 プレートの動きから、プレート境界でみられる地形的な特徴を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 プレートの分布と運動 プレートの境界 プレートの環境 地殻変動と地質構造 変成作用 大地形の形成 ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 プレートの種類と世界のプレートの分布を理解している。世界の大山脈が、プレートの収束境界で生じた造山運動で形成されたことを理解している。 【思考・判断・表現】 プレートの動きから、プレート境界でみられる地形的な特徴を説明できる。断層や褶曲を、その形態から分類し、どのように形成されたかを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な断層や褶曲に興味を持ち、その形成について考察し、理解を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	3 単元 地震 【知識及び技能】 地震現象そのものについて学習し、震央・震源の決定については作図を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大森公式と作図によって、震央・震源の位置を決定することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 地震の発生と分布 地震現象の伝わり方 日付付で発生する地震 ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 地震の発生と分布の特徴について理解し、知識を身に付けている。日本付近の地震の分布と種類を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 大森公式を利用して、初期動継続時間から震源距離を求めることができる。南海地震前後の宝戸川の震動を示すグラフから、地震のおこるしくみ、地震の規模について、地下のプレートと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地震の発生と分布の物理に関心をもち、地震のおこるしくみについてプレートの運動と関連させて、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	7
4 単元 火山 【知識及び技能】 マグマの発生条件や粘性について、プレートの運動と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 マグマの性質と、噴火様式や火山帯との関係について学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 火山の分布 火山の形成とマグマ 火山の噴火 火山の地形 ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 火山の形成過程について、地下のプレートと関連させて理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 世界の火山分布と主要な火山分布の資料から、マグマの発生する場所について、地下のプレートと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界および日本の火山の分布に関心をもち、火山活動について意欲的に学習しようとしている。火山の形成に関心をもち、火山活動について意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7	
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	5 単元 地球のエネルギー収支 【知識及び技能】 大気圏の位置構造や特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気の状態変化についての知識をもとに、対流圏で起こる現象について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 大気圏の形成 大気圏の種類 大気圏の構造と気象 対流圏における水の気化 太陽放射と地球放射 地球を出入りするエネルギー ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 大気圏の組成と圧力、大気圏の構造について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 放射平衡の気象データから、グラフを作成し、大気圏が高度による気圧の変化にもとめて区分されていることを確認することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大気圏の組成、大気圏の圧力、大気圏の構造、オゾン層に関心をもち、各種の気象情報を積極的に日常生活に利用しようとしている。	○	○	○	7
	6 単元 地球と環境 【知識及び技能】 地震災害や火山災害に伴い、どのような被害が発生するかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 過去の地震をもとに、地震のメカニズムから発生する災害を推測することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの地域で発生する可能性のある災害を理解し、命を守る最善の対策を考えようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 気象災害① 気象災害② 地震災害 環境による被害の軽減 火山災害と防災 自然災害への対策 ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 大気の大循環および、各地域での大気の動きを理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 エルニーニョ現象やラニーニャ現象が発生したときに、日本の気候に与える影響について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大気の大循環に関心をもち、各地域での大気の動きについて意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	7 単元 宇宙と太陽系の誕生 【知識及び技能】 宇宙の始まりについて、観測や理論的な研究から明らかになってきたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽系の活動について、観察を通して説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 宇宙の発見 宇宙の始まり 太陽の誕生 太陽の活動 ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 宇宙の始まり、銀河系の構造について理解し、知識を身に付けている。太陽の誕生過程やエネルギー源、現在の太陽について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 太陽の黒点の観察を通して、太陽の活動について理解を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな化石の発見し、地球上最も近い距離にある恒星である太陽に関心をもち、地球上にさまざまな影響を与える太陽のエネルギーについて意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7
8 単元 太陽系と地球の誕生 【知識及び技能】 太陽系の構造と太陽系の形成 太陽系の誕生 太陽系の惑星 生命の惑星・地球 【思考力、判断力、表現力等】 惑星の特徴を示す物理量、グラフで表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 太陽系の構造 太陽系の形成 太陽系の誕生 太陽系の惑星 生命の惑星・地球 ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 太陽系の構造と誕生過程、地球型惑星と木星型惑星の違いを理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 太陽系の形成時の位置や質量などの違いによって、地球型惑星と木星型惑星の内部構造の違いを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 太陽系を構成する天体やその誕生過程に関心をもち、太陽系の成り立ちについて意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	7	
定期考査			○	○	○	1	
3 学期	9 単元 地層と化石 【知識及び技能】 岩石の風化や河川による浸食、変質、堆積について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地層やそこから産出する化石の観察を通して、地層が堆積したときの環境や地層が形成された地質時代を推定できることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 地層の形成 地層の重なり及び厚さ 堆積岩 化石と地質時代 ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 地層のしくみや河川の働きから、地層の形成について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 堆積岩の観察を通して、堆積岩の種類を判別することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな化石の発見し、地層の形成に関心をもち、地質時代を推定する作業を意欲的に習得しようとしている。	○	○	○	6
	10 単元 地球と生物の変遷 【知識及び技能】 化石や地質学的な事象から、地球環境がどのように変化してきたかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球環境の変化に関する資料に基づいて、大気の変化と生命活動の相互のかわりを見出して理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 地学的な事象・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	・指導事項 先カンブリア時代 古生代 中生代 新生代 ネオバールノート 学習の記録シート 小テスト	【知識・技能】 先カンブリア時代から新生代第四紀までの、地球と生物の変遷を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地球の環境変化や、二酸化炭素濃度のグラフから、当時の環境、生物の進化・絶滅について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地質時代における生物の移り変わりのようすに関心をもち、地球の生き立ちを意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組 5 組 6 組

教科担当者：（1組：橋本） （5組：橋本） （6組：橋本）

使用教科書：（第一学習社 高等学校新物理基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象についての観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	【学びに向かう力、人間性等】			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	1. 物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動の特徴について理解するとともに、それらの観察・実験などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動の特徴について、観察・実験などを通じて探究し、規則性や関連性を見出している。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動について主体的に関わり見通しを持ち、振り返ることで科学的に探究しようとする。	・指導事項 ①速さと等速直線運動 ②変位と速度 ③加速度 ④等加速度直線運動 ⑤重力加速度と自由落下 ⑥鉛直投げおろし 鉛直投げ上げ ・教材 教科書・副教材・授業プリント	【知識・技能】 物体の運動について理解するとともに、実験の技能を身に付けている。 基本的な単位の換算ができる。 【思考・判断・表現】 物体の運動などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	10
	2. 力と運動の法則 【知識及び技能】 様々な力とその働きについて理解するとともに、それらの観察・実験などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な力とその働きについて探究し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な力とその働きについて主体的に関わり、規則性や関連性について科学的に探究しようとしている。	・指導事項 ①力と質量 ②いろいろな力 ③力の合成・分解と力のつり合い ④運動の法則 ⑤運動方程式 ・教材 教科書・副教材・授業プリント	【知識・技能】 様々な力とその働きについて理解するとともに、観察・実験の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 様々な力とその働きについての観察、実験を行い、規則性や関係性を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な力とその働きなどに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	3. 熱とエネルギー 【知識及び技能】 熱と温度、熱の利用について理解するとともに、それらの実験・観察などを身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 熱と温度、熱の利用について探究し、熱の移動及び熱と仕事の関係について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 熱と温度、熱の利用などについて主体的に関わり、特徴や性質について科学的に探究しようとする。	・指導事項 ①温度と熱運動 ②熱と熱平均 ③熱と仕事 ④エネルギーの変換と保存 ・教材 教科書・副教材・授業プリント	【知識・技能】 熱と温度、熱の利用などを理解するとともに、科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 熱と温度、熱の利用に関する観察、実験を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱と温度、熱の利用の探究に関する事象・現象に主体的に関わり、それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	10
	4. 波の性質 【知識及び技能】 波の性質、音と振動について理解するとともに、身の周りの波動現象について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波について探究し、様々な関係について考え、表現しているとともに、身の周りの波動現象の関係について表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 波の性質や音と振動の関係について主体的に関わり、化学反応式との関係について科学的に探究している。	・指導事項 ①波と振動 ②波の表し方 ③波の重ねあわせ ④音と速さと3要素 ⑤波としての音の性質 ⑥弦の固有振動 ・教材 教科書・副教材・授業プリント	【知識・技能】 波の性質や音と振動の関係について理解するとともに、実験の技能と身の周りの波動現象について探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 波の性質や音と振動の関係についての観察、実験を行い、規則性や関係性を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の周りの波動現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	5. 電荷と電流 【知識及び技能】 物質と電気抵抗、電氣の利用について理解するとともに、酸と塩基に類する実験の方法について身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と電気抵抗の関係を見出せるとともに、抵抗率が異なることを探究することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身の周りの電氣について考え、科学的に探究しようとしている。	・指導事項 ①電荷 ②電流と電氣抵抗 ③物質と抵抗率 ④磁場 ⑤交流の発生と利用 ⑥電磁波 ・教材 教科書・副教材・授業プリント	【知識・技能】 物質と電氣抵抗、電氣の利用について理解するとともに、実験の方法について身に付けている。 【思考・判断・表現】 電氣と電氣抵抗についての観察、実験を行い、身の周りの電氣に関する事柄を科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 電氣や電氣抵抗、電氣の利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	6. エネルギーとその利用 【知識及び技能】 物理基礎で学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術を結びつけていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活や身近な環境への物理学の成果や応用について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物理学の原理や法則などがどのように応用されているか科学的に探究しようとしている。	・指導事項 ①太陽エネルギーの利用 ②原子力エネルギー ・教材 教科書・副教材・授業プリント	【知識・技能】 エネルギーの利用や特性について、物理的な側面から理解している。 【思考・判断・表現】 科学技術の具体的な事例について、物理学の原理や法則などがどのように応用されているか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活と物理学の関りを主体的に考え、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	13
						合計	70

東村山高等学校 令和7年度（2学年用）教科

保健体育 科目 体育（男）

教科：保健体育 科目：体育（男） 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年男子 1組～6組

教科担当者：池田 貴・古畑 孝太郎

使用教科書：（大修館書店 新高等保健体育）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育（男）

の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○陸上、バレーボール、水泳、スポーツテスト 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ボール、タイマー、ビート版、ワークシート	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	26
	○水泳、バドミントン、ソフトボール 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ビート版、ラケット、シャトル、バット、ボール、ベース、タイマー	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	27
3 学期	○長距離走 【知識・技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 基本技術の習得 安全な競技の実施 基礎体力の向上 忍耐力の向上 ・教材 タイマー	【知識・技能】 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
							合計
							70

東村山高等学校 令和7年度（2学年用）教科 保健体育 科目 体育（女）

教科：保健体育 科目：体育（女） 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年女子1組～6組

教科担当者：古畑 孝太郎 ・新堀 陽子

使用教科書：（大修館書店 新高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考・判断・表現】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育（女） の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○陸上、バドミントン、水泳、スポーツテスト 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ラケット、シャトル、タイマー ビート板、ワークシート	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	26
2 学期	○水泳、バスケットボール、フットサル 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。	・指導事項 基本技術の習得 ルールと試合の運営 安全な競技の実施 ・教材 ビート板、タイマー ボール、ワークシート	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。	○	○	○	27
3 学期	○長距離走 【知識・技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。ことなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 基本技術の習得 安全な競技の実施 基礎体力の向上 忍耐力の向上 ・教材 タイマー	【知識・技能】 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて仲間とともに陸上競技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
							合計
							70

東村山 高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科保健体育 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 1 組：古畑 ）（ 2 組：新堀 ）（ 3 組：新堀 ）（ 4 組：池田 ）（ 5 組：古畑 ）（ 6 組：池田 ）

使用教科書：（ 大修館書店 新高等保健体育 ）

教科 保健体育

の目標：

【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康。安全について理解する。

【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断できるようにする。

【主体的に学習取り組む態度】 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進・体力の向上を目指す。

科目 保健

の目標：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習取り組む態度】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境を創り、活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生涯の各段階における健康 【知識・技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化について理解する。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、自他や社会の課題を発見する。 【主体的に学習取り組む態度】 思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・指導事項 生涯を通じる健康 ・教材 教科書、ワークシート ・一人1台端末の活用 振り返りでオンライン教材の活用	【知識・技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理して、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 思春期と健康、結婚生活と健康、加齢と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学期	労働と健康 【知識・技能】 健康管理と安全管理が必要であることについて、理解する。 【思考・判断・表現】 健康管理や安全管理に関わる取組を整理し、個人生活や社会生活と関連付けて、自他や社会の課題を発見する。 【主体的に学習取り組む態度】 働く人の健康の保持増進について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・指導事項 働くことと健康、労働災害の防止 ・教材 教科書、ワークシート ・一人1台端末の活用 振り返りでオンライン教材の活用	【知識・技能】 労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたこと、労働災害を防止するには、過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 労働災害と健康について、健康管理や安全管理に関わる取組を整理し、個人生活や社会生活と関連付けて、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働災害と健康、働く人の健康の保持増進について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学期	健康を支える環境づくり 【知識・技能】 健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、理解を深める。 【思考・判断・表現】 健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断する。 【主体的に学習取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組む。	・指導事項 働くことと健康、労働災害の防止 ・教材 教科書、ワークシート ・一人1台端末の活用 振り返りでオンライン教材の活用	【知識・技能】 健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 35

東村山 高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科

芸術

科目 音楽 II

教科： 芸術

科目： 音楽 II

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： 新井聡子 ペロー励子

使用教科書：（ 音楽 II Tutti+ 教育出版 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 II

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる。	音楽を演奏する上で必要な知識及び技能を、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができる。また音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	音楽の美しさや旋律の良さを味わい、主体的、協働的に歌唱や器楽、鑑賞の活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創	鑑賞						
1 学期	・「音楽の基礎知識を身に付けよう」	・楽典 読譜や音楽の基礎的な知識の学び直し。 教材；高校生のための音楽研究ノート、一人一台端末の活用									4
	・歌唱 旋律やリズムを生かした歌唱表現をしよう	・ポピュラーミュージック リズムの特性や旋律の特徴を理解し、言葉の力を生かす	○								10
	・器楽 フォークギター/キーボード 「コードで弾き語りをしよう」	・コードでの弾き語り 「カントリーロード」他 TAB譜の読み方や、コードの仕組み	○	○							
2 学期	・鑑賞 物語と音楽との関わりに注目しよう	・ミュージカル 「CATS」「レ・ミゼラブル」 ・オペラ 「トゥーランドット」 ・歌舞伎				○					14
	・歌唱 歌詞や情景を生かした発声方法や実技表現をすることが出来る。	・同声二部合唱 リズムや音程を理解させ、正しい発声方法で合唱させる。	○								12
3 学期	・創作 「あなたもシューベルト」	・7・5 調による旋律の作曲 言葉のイントネーションを考えさせ、旋律にするとどのような楽譜になるか学習させる。				○	○				6
	〔単元名〕 年度末アンサンブル発表会	・それぞれの楽器や歌の基本的な奏法（息づかいや指使いなど）、演奏表現に必要な技術。 ・楽曲の曲想や楽器の音色を作り出す奏法の関係について。 ・楽曲のイメージと、演奏表現の生かし方について。	○	○	○	○					14
										合計	70

東村山 高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科

芸術 科目 美術Ⅱ

教科： 芸術

科目： 美術Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （ 12 組：小野 ） （ 3 組： 小野 ） （ 4 組： 小野 ） （ 5 6 組：小野 ）

使用教科書： （ 美術 2 光村図書 ）

教科 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】 ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。

【思考力、判断力、表現力等】 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 ○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	○主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 画							
<p>【知識及び技能に関する目標】 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉えている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩を鑑賞する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 不思議な世界を表す鑑賞活動に、主体的に取り組む。</p>	○錯視、美術の様々な表現について					<p>【知】 視覚に関する錯覚の効果、質感や空間など造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>【鑑】 錯視や不思議な世界の表現の効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【態表】 錯視やイメージの重なりなどを基に、不思議な世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい錯視や不思議な世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	○	2
<p>【知識及び技能に関する目標】 イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージを捉え、絵具などの特性を生かし、計画を基に表す。</p> <p>判断力、表現力等に関する目標】 伝えたいメッセージや場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい内容を効果的にポスターに表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	○文化祭のポスターを制作する					<p>【知・技】 イラストや写真、文字の形や色、構成などが感情にもたらす効果や、伝達したいことや場面、全体のイメージでとらえることを理解している。意図に応じて表現方法を工夫し、アクリルガッシュなどの技法や特性を生かし、計画的に見通しをもって表している。</p> <p>【発・鑑】 伝えたいメッセージや場面などを基に主題を作成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練っている。ポスターのよさや美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【態表・態鑑】 伝えたいメッセージや場面などを効果的にポスターに表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。ポスターのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	○	18
<p>【知識及び技能に関する目標】 仮面の形や色、性格を表す表情や装飾物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 表現したい思いや伝えたいものを基に、仮面の形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 伝えたい思いを自分の神様の仮面として豊かに表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	○オリジナルの神様の仮面を作る					<p>【知】 形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や神様の表情や装飾物などの造形的な特徴を基に、全体のイメージでとらえることを理解している。</p> <p>【技】 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、粘土や紙、アクリルガッシュなどの特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。</p> <p>【発・鑑】 仮面の伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【態表】 伝えたい思いや場面などを基に主題を作成し、形や色彩、粘土による立体表現などによる効果や、構想を練っている。仮面のよさや美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【態表】 主題を生み出し、仮面の伝達効果などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 仮面の伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	○	30
<p>【知識及び技能に関する目標】 点描画の技法の理解し、点の密度による明暗や立体感の表現技法を使い、意図に基づいて点描画として表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 白黒の明暗の資料を基に、明暗や立体感のある場所を認識し、点の密度によって、イメージを創意工夫し、点の打ち方を工夫し、美しさの調和を考え、構想を練り、点描画を表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 意図したイメージを表現する点描制作の創造活動に、主体的に取り組む。</p>	○点描で描く					<p>【知】 点の密度によってあらわされる明暗や立体感などの効果、造形的な特徴などを理解している。</p> <p>【技】 イメージを基にミリペンの特徴や点の密度による明暗や立体感の表現の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。</p> <p>【発】 自分の準備した資料や思い描いたイメージなどから主題を生かし、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>【鑑】 美しさの調和を感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【態表】 イメージした意図や目的を点描画の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態鑑】 点描のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	○	20
										合計	
										70	

東村山 高等学校 令和7年度

芸術 科目 書道Ⅱ

教科：芸術 科目：書道Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：(12組：大河原) (56組：大河原)

使用教科書：(教育図書「書Ⅱ」)

教科 書道Ⅱ の目標：

- 【知識及び技能】書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、またそれを発展させ、効果的に表現するための高度な技能を身に付けるようにする。書表現の各部の技術を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】古典の臨書や創作を通して書的美を理解し、書表現や作者などに対する思考力、判断力を身につける。表現力と鑑賞力を高める。書表現の作品全体の美しさの表現。
- 【学びに向かう力、人間性等】書の学習活動を通して、書を愛好する心情を育てる。表現力を磨くことにより、自己を他に伝えたり他を理解する能力を育てる。愛をもって芸術表現を楽しむ。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、またそれを発展させ、効果的に表現するための高度な技能を身に付けるようにする。書表現の各部の技術を身につける。	古典の臨書や創作を通して書的美を理解し、書表現や作者などに対する思考力、判断力を身につける。表現力と鑑賞力を高める。書表現の作品全体の美しさの表現。	書の学習活動を通して、書を愛好する心情を育てる。表現力を磨くことにより、自己を他に伝えたり他を理解する能力を育てる。愛をもって芸術表現を楽しむ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	<p>篆書の正しい知識を身につけ、各表現に合わせて筆などの使い方を学ぶ。</p> <p>篆書のさまざまな書</p> <p>【知識及び技能】篆書の背景と文化、書風の変遷、特有の造形、特徴について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【表現】篆書の個性に対応した用筆・運筆、字形、全体の構えについて考え全体の工夫をする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【鑑賞】篆書の書体の個性や、その背景にある歴史、文化に興味をもち、愛をもって自ら漢字の書の鑑賞に関する学習に取り組み姿勢が見える。</p> <p>文化祭用作品の制作</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】自己作品展示の意義や、画仙紙の表現について理解する。</p> <p>【鑑賞】多字表現における線質、字形、表情等から受ける印象について理解する。</p> <p>普段の授業で得たことを生かした表現を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】自分のリズム、流れで全体を表現する。</p> <p>【鑑賞】展示作品の価値について考え、各書の実しさを捉えまた表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら展覧会用表現の学習に愛をもって積極的に取り組もうとする。</p> <p>【鑑賞】自ら展覧会用作品の鑑賞に対する学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>・篆書体の学習</p> <p>甲骨文、金文、小篆について理解する。特徴、用筆法を学ぶ</p>	○	○		<p>篆書の正しい知識を身につけ、各表現に合わせて筆などの使い方を学んでいること。</p> <p>篆書のさまざまな書</p> <p>【知識及び技能】篆書の背景と文化、書風の變遷、特有の造形、特徴について理解していること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【表現】篆書の個性に対応した用筆・運筆、字形、全体の構えについて考え全体の工夫をしていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【鑑賞】篆書の書体の個性や、その背景にある歴史、文化に興味をもち、愛をもって自ら漢字の書の鑑賞に関する学習に取り組み姿勢が見えること。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>	○	○	○	8	
	<p>文化祭用作品の制作</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】自己作品展示の意義や、画仙紙の表現について理解していること。</p> <p>【鑑賞】多字表現における線質、字形、表情等から受ける印象について理解していること。</p> <p>普段の授業で得たことを生かした表現を身につけていること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】自分のリズム、流れで全体を表現できていること。</p> <p>【鑑賞】展示作品の価値について考え、各書の実しさを捉えまた表現できていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら展覧会用表現の学習に愛をもって積極的に取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら展覧会用作品の鑑賞に対する学習活動に取り組もうとしていること。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>	文化祭用作品の作成(楷書・行書)	○		○	<p>文化祭用作品の制作</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】自己作品展示の意義や、画仙紙の表現について理解していること。</p> <p>【鑑賞】多字表現における線質、字形、表情等から受ける印象について理解していること。</p> <p>普段の授業で得たことを生かした表現を身につけていること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】自分のリズム、流れで全体を表現できていること。</p> <p>【鑑賞】展示作品の価値について考え、各書の実しさを捉えまた表現できていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら展覧会用表現の学習に愛をもって積極的に取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら展覧会用作品の鑑賞に対する学習活動に取り組もうとしていること。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>	○	○	○	14	
2 学 期	<p>隷書の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】隷書古典の書体や書風、と表現との関わりについて理解する。それらを各部の表現に生かす。</p> <p>【鑑賞】線質、字形、構え等と表現の関わり、中国の文化や時代と特色について理解する。</p> <p>各隷書の古典の美、個性を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】隷書古典の美や個性に対応した用筆・運筆、字形、構成について工夫する。それらを作品全体に生かす。</p> <p>【鑑賞】各隷書の価値、個性について考え、美しさを味わう。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら隷書の個性的な表現の学習活動に愛をもって取り組もうとする。</p> <p>【鑑賞】自ら隷書の鑑賞の学習活動に取り組もうとする。</p>	<p>隷書体の学習</p> <p>曹全碑・礼器碑</p> <p>乙瑛碑</p>	○	○		<p>隷書の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】隷書古典の書体や書風、と表現との関わりについて理解する。それらを各部の表現に生かしていること。</p> <p>【鑑賞】線質、字形、構え等と表現の関わり、中国の文化や時代と特色について理解していること。</p> <p>各隷書の古典の美、個性を理解していること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】隷書古典の美や個性に対応した用筆・運筆、字形、構成について工夫する。それらを作品全体に生かしていること。</p> <p>【鑑賞】各隷書の価値、個性について考え、美しさを味わっていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら隷書の個性的な表現の学習活動に愛をもって取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら隷書の鑑賞の学習活動に取り組もうとしていること。</p>	○	○	○	12	
	<p>草書の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】草書の隷書・篆書からの歴史的繋がりや、用筆・運筆など造形を理解して各部の表現する。</p> <p>【鑑賞】各草書の表現の特徴や、各書体に固有の造形や線質の細かな特徴を理解する。</p> <p>各古典の特徴を生かした表現を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【表現】草書古典の個性に合致した技術に基づいてよく練習し工夫し、全体の表現に生かす。</p> <p>【鑑賞】草書古典の歴史的価値と造形的価値について考え、書の実しさを理解し感じ取る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら草書の書の表現学習に愛をもって取り組もうとする。</p> <p>【鑑賞】自ら草書の書の鑑賞活動に取り組もうとする。</p>	<p>草書体の学習</p> <p>十七帖</p> <p>書譜</p>	○	○		<p>草書の学習</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】草書の隷書・篆書からの歴史的繋がりや、用筆・運筆など造形を理解して各部の表現している。</p> <p>【鑑賞】各草書の表現の特徴や、各書体に固有の造形や線質の細かな特徴を理解している。</p> <p>各古典の特徴を生かした表現を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【表現】草書古典の個性に合致した技術に基づいてよく練習し工夫し、全体の表現に生かしている。</p> <p>【鑑賞】草書古典の歴史的価値と造形的価値について考え、書の実しさを理解し感じ取っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら草書の書の表現学習に愛をもって取り組もうとしている。</p> <p>【鑑賞】自ら草書の書の鑑賞活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12	
	<p>仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】漢字仮名交じりの書の表現について理解したうえで表現すること。</p> <p>漢字と仮名を調和させて表現する技術を身につけること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】漢字と仮名が調和し、文の内容に合致した表現ができていること。</p> <p>【鑑賞】現代社会における漢字仮名交じり書の意義について考え、美しさを味わっていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら漢字仮名交じりの書の表現学習に興味を持ち、愛をもって取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら漢字仮名交じりの書の鑑賞に興味を持ち、取り組もうとしていること。</p>	<p>2. 創作する</p> <p>好きな言葉や文を書く</p> <p>漢字仮名交じり文と日本語表記</p> <p>日常の表現</p>	○		○	<p>仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【表現】漢字仮名交じりの書の表現について理解したうえで表現していること。</p> <p>漢字と仮名を調和させて表現する技術を生かしていること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【表現】漢字と仮名が調和し、文の内容に合致した表現ができていること。</p> <p>【鑑賞】現代社会における漢字仮名交じり書の意義について考え、美しさを味わっていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら漢字仮名交じりの書の表現学習に興味を持ち、愛をもって取り組もうとしていること。</p> <p>【鑑賞】自ら漢字仮名交じりの書の鑑賞に興味を持ち、取り組もうとしていること。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>	○	○	○	6	
3 学 期	<p>【知識・技能】</p> <p>【表現】古筆の作品について理解している。小筆の性質や用法について理解し、細かな表現を工夫する。</p> <p>【鑑賞】日本独特の書である仮名と物語や日記などの文化の関わりを理解している。仮名の細やかな技法を身につける。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>【表現】仮名の古筆の表現された時代、作者などを理解したうえで、全体の造形について工夫して表現する。</p> <p>【鑑賞】仮名の古筆の価値とその根拠について考え、時代、作者など人物まで味わう。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら日本人として、仮名の書の表現学習に愛をもって取り組む。</p> <p>【鑑賞】自ら日本人として、仮名の書の鑑賞学習に取り組む。</p>	<p>1. 仮名の成立と種類、時代</p> <p>2. 文字の造形を学ぶ</p> <p>仮名の筆使い</p> <p>平仮名 単体 連続</p> <p>変体仮名</p> <p>蓬萊切</p> <p>高野切三種</p>	○		○	<p>【知識・技能】</p> <p>【表現】古筆の作品について理解している。小筆の性質や用法について理解し、細かな表現を工夫している。</p> <p>【鑑賞】日本独特の書である仮名と物語や日記などの文化の関わりを理解している。仮名の細やかな技法を身につけている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>【表現】仮名の古筆の表現された時代、作者などを理解したうえで、全体の造形について工夫して表現されている。</p> <p>【鑑賞】仮名の古筆の価値とその根拠について考え、時代、作者など人物まで味わっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>【表現】自ら日本人として、仮名の書の表現学習に愛をもって取り組もうとしている。</p> <p>【鑑賞】自ら日本人として、仮名の書の鑑賞学習に取り組もうとしている。</p> <p>提出作品と授業の取り組み方によって評価する。</p>	○	○	○	18	
											合計

東村山 高等学校 令和7年度（2学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組～6組：石川太一 橋本裕二 江島れお）

使用教科書：（COMET English Communication Ⅱ（数研出版））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の語彙・音声・表現・文法などに対する理解を深め、聞き手・話して・読み手・書き手に配慮しながら適切にコミュニケーションを図る技能を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で情報を理解し、適切に伝え合う力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英検3級程度の単語・文法事項を理解している。教員からの助言や既習の知識を用いてテキストの内容を理解することができる。英語の発音とつづりの関係を理解することができる。英語の基礎的な語順を理解することができる。	文法事項の理解を基に、自身の感情や意見を英文で書くことができる。学習した内容をもとに、初めて読む英語の文章を理解することができる。発音とつづりの知識を用いて、単語の発音を予測することができる。英語の基礎的な語順を理解し、英語の文を書くことができる。	文法事項の理解を基に、自身の感情や意見を英文で書こうとしている。記録・振り返りを通じて、英語を運用する力の変容に注目することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	書					
1 学 期	Lesson1 他動詞+目的語+to不定詞 【知識及び技能】 他動詞+目的語+to不定詞の形式と意味を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 他動詞+目的語+to不定詞を用いた会話を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録などを通じて自らの英語力の変化に注目することができる。	・教科書及び付属副教材 ・でる順バス単3級 ・振り返りシート	○	○	○	○				12
	Lesson2 疑問詞+to不定詞 【知識及び技能】 疑問詞+to不定詞の形式と意味を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 疑問詞+to不定詞を用いて、やり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録などを通じて自らの英語力の変化に注目することができる。	・教科書及び付属副教材 ・でる順バス単3級 ・振り返りシート	○	○		○				10
	Lesson3 分詞修飾 【知識及び技能】 分詞が名詞を修飾していることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞を用いたやり取りができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録などを通じて自らの英語力の変化に注目することができる。	・教科書及び付属副教材 ・でる順バス単3級 ・振り返りシート	○	○		○				11
	Lesson4 名詞節 【知識及び技能】 if 疑問詞の節が、名詞の役割をしていることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動詞の目的語となるif 疑問詞節を用いて正しい文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録などを通じて自らの英語力の変化に注目することができる。	・教科書及び付属副教材 ・でる順バス単3級 ・振り返りシート	○	○	○	○				17
	定期考査		○	○		○				1
2 学 期	Lesson5, 6 形式主語+see, 助動詞+have+過去分詞 【知識及び技能】 形式主語itがto不定詞を受けていること及び助動詞+have+過去分詞を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 形式主語を用いて正しい英語を書くことができる。that節を用いて情報をやり取りすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録などを通じて自らの英語力の変化に注目することができる。	・教科書及び付属副教材 ・でる順バス単3級 ・振り返りシート	○	○	○	○				28
	定期考査		○	○		○				1
3 学 期	Lesson 7, 8 過去完了形 関係代名詞what 【知識及び技能】 過去完了形と、関係代名詞whatの意味と用法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 過去完了形を用いて情報をやり取りすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録などを通じて自らの英語力の変化に注目することができる。	・教科書及び付属副教材 ・でる順バス単3級 ・振り返りシート	○	○	○	○				28
	定期考査		○	○		○				1
3 学 期	Lesson 9, 10 関係副詞・使役動詞 【知識及び技能】 関係副詞・使役動詞の意味と用法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の選択した場所・地域を改善するために必要なものを調査して英語で発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 記録などを通じて自らの英語力の変化に注目することができる。	・教科書及び付属副教材 ・でる順バス単3級 ・振り返りシート	○	○	○	○				29
	定期考査		○	○		○				1
合計										
140										

東村山 高等学校 令和7年度（2年用） 教科

家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組・3組・4組・6組：若海早苗） （2組・5組：川上璃子）

使用教科書： （実教出版 家庭総合）

教科 家庭 の目標： 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、理解しているとともに、それらにかかる技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決する力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域と社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践している。

科目 家庭総合 の目標： 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図る。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と、生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1章 ほかの人生について考えてみよう 【知識及び技能】 ライフステージごとの特徴・課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の特徴や長所に気付き、人生を展望できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ライフステージと発達課題 ・教材 教科書・プリント	【知識・技能】 自分や人の一生についての考えをまとめることができる 【思考・判断・表現】 ライフステージの特徴と課題について知り、社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在に自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	3
	B 単元 第2章 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 自立の種類とそれぞれのお具体的な内容を理解する。 結婚・家族・家庭の意義や機能について理解する。 家族に関する法律の理念や背景について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 家族の条件を考える。 家族が抱える問題を踏まえて、家族を支える仕組みについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の家族の問題や社会問題を自分事としてとらえる。	・指導事項 「大人」と自分を比較し、不足している点を考える。 青年期の特徴について学ぶ。 家族の条件を考える。 家族に関する法律から、家庭生活と法律との関係について。 ・教材 教科書・プリント 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 結婚、家族・家庭の多様化や、現代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらに、現在の家族の抱える問題・課題などについて、情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかわっているのか、興味関心を持つようとする。	○	○	○	3
	C 単元 第4章 高齢者とかかわる 【知識及び技能】 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の課題やその解決に向けて上布を収集し、自分の考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢社会の現状や高齢者の生活について、自分事としてとらえ、考える 定期考査	・指導事項 高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。 高齢者施設の利用、どのような人が働いているかをまとめる。 高齢者の課題やその解決にどのようなことが必要かを考える。 介護保険について理解をする。 ・教材 一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している 【思考・判断・表現】 高齢社会の課題やその解決に向けて情報を収集し、自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。	○	○	○	2
2 学 期	第5章 社会とかかわり 【知識及び技能】 社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会福祉制度のしくみについて理解する。 暮らしの中の支えあいについて考える 【思考力、判断力、表現力等】 人の一生と社会福祉とかかわりをイメージする。福祉の意味について考える。 ボランティア活動や地域社会での様々な意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会福祉の制度の仕組みを踏まえて、将来に向けての課題を考える。 定期考査	・個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。 ・将来に向けた課題に気づく。 ・支えあう社会の大切さやボランティア活動を理解し、ボランティア活動に興味関心を持つようになる。 ・教材 一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 ボランティア活動の意義について理解できる。 【思考力、判断力、表現力】 社会福祉や生活を通しての社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支えあいのしくみについて意図的に理解しようとしている。 支えあう社会とは何かを考え、社会福祉についての考えをまとめ、支えあい活動などの実践に生かすことができる	○	○	○	6
	第9章 消費行動を考える 【知識及び技能】 様々な情報を収集しながら、自分の消費行動について検証する。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決する方法を考える。 定期考査	消費行動、情報リテラシー ・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決する方法を考える。	【知識及び技能】 自分の消費行動について検証することができる。 また、消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力】 多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とかかわりについて積極的に理解しようとする。	○	○	○	10
	第10章 経済的に自立する 【知識・技能】 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 【思考力、判断力、表現力】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【自ら学びに向かう能力】 自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意図的に取り組もうとしている。 定期考査	・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 ・家庭経済と国民経済、国際経済の関係性に気づく。 【思考力、判断力、表現力】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【自ら学びに向かう能力】 自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意図的に取り組もうとしている。	【知識・技能】 ・生活における経済と社会のかかわりについて理解している。 ・収入と支出にはどのような項目があるのか理解している。 【思考力、判断力、表現力】 現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【自ら学びに向かう能力】 自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意図的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
				○	○		1 合計 35